

## ヘルメットの大せつき

おと年の十二月五日、ようちえんのまえで、おかあさんとじてん車じしゃにのついているときに、こうつうじこにあいました。

車くるまがおかあさんにぶつかるしゅんかん、こわすぎて目をつぶりました。つぎに目をあけると、わたしはチャイルドシートからすっぽぬけて、おうだんほどうの上うへにたおれていました。おかあさんはかおからちを出だしてたおれていて、んでいるかも、とこわくなりました。おかあさんにちかづいて、「おかあさん…。」とよびました。こわくて、とてもとても小さなこえしか出でませんでした。おかあさんが「ううっ…。」とこえをだしたので、いきてたあ、とすぐくすぐくあんしんしました。あんしんしたら、きゆうに体からだがガタガタと大きくふるえだしました。どうしてふるえているのかわからなくて、またこわくなりました。

わたしとおかあさんは、きゆうきゆう車しゃでびよういんにはこばれました。おかあさんはあたまや体からだに大けがをしてい

て、六ろくしゆうかん入にゅういんしました。

サンタさんはわすれずにプレゼントをくれたけど、おかあさんのいないクリスマスはとてもさみしかったです。

わたしはちゃんとヘルメットをかぶっていたから、あたまをまもることができました。おかあさんもヘルメットをしていたら、あたまに大きなけがをしていなかったとおもいます。ヘルメットは、あつかったり、かゆかったり、おもかったり、ベルトがすれてきもちわるいときもあるけれど、あたまといのちをまもるためにやくにたちます。

じこのあと、わたしはそとをあるくのがこわくなって、おかあさんとあるくれんしゆうをしました。いまは一人であるけるし、じてん車じしゃにもついています。もちろん、わすれずにヘルメットをつけます。よく、ヘルメットをしないでじてん車じしゃにのついている人を見みかけます。大人おとなも子どもこもいます。じこはいつだれにおきるかわからないから、しんぱいになります。

ヘルメットの大せつきをしってほしいです。